

つるのおんがえし



スーパーの試食コーナーで、一口でも試食してしまったら最後。買わずにその場を去れない、芦川永光です。

夏のスーパーにはいろんな思い出があります。アイスが入っている冷凍庫の内側にくっついてる氷を、削って丸めたり、スーパーの中を「足がひんやりしてきもちいい～」と両手にビーチサンダルを持って、素足で駆け回って喜んだりしていました。特に暑い日は、野菜コーナー周辺が特に冷たかったなあ・・・鮮明に覚えています。それにしても、残暑が厳しい～！！

日本人ってすごいなって思いました。

先日、時代を感じさせる、こんなキャッチコピーを見かけました。

日本では、「蚊帳」を
知らない子どもが増えている。

アフリカでは、「蚊帳」で
眠る子どもが増えている。

マラリアからアフリカを守る技術が、ある。
住友化学

現在31歳の私は、蚊帳の中で眠った経験はありません。でも、アニメ映画「となりのトトロ」などで、どういうものかは見たことがあります。蚊取り線香などが無い頃の、蚊を避けるための道具ですよ。

この21世紀に、日本を遠く離れたアフ

リカでは、重宝されているという蚊帳。日本人はそんなに便利なものを、既に半世紀前に作っていたということですよ。これ、すごい事だと思うんです。

愛着を持って使えば、長く使える

そういえば先日、私の父が長年乗り続けた仕事用の車を、新車に乗り換えしました。ディーゼルガス規制の対象車という事で、関東圏では乗れなくなりました。まだまだ動くのに・・・と残念がっていました。で、その車を売りに出したんです。関東圏では走れないので、買い手はスリランカの人。日本の車は性能が良いからボロでも、めちゃくちゃ高く売れるんだそうです。

日本人の技術力は、新しいものをどんどん生み出しますが、大事に使う文化も忘れちゃいけないって思いました。これだけモノの値段が上がっているご時世。今、使っているモノに、買った頃のあの感動と、今以上の愛着を持ち続けたいものですね。

お盆休み、暑かったですね～！！

お盆休みはどちらかへお出かけされましたか？それとも、自宅での～んびり、でしたか？いやいや、仕事が忙しかった！ですか？

私は週末に2日だけ休みました。そこで16日に、家族とお墓参りに行ってきました。父と母、両方のおじいちゃんのお墓参りです。私はおじいちゃんの顔を見たことはありません。私が生まれる前に、他界しています。

「つるのおんがえし」丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、20数年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします

毎月1回発行 発行編集責任者 感動創庫(かんどうそうこ) 芦川 永光

住所 藤沢市長後 1135-11-101 電話 090-1856-5593 FAX0466-65-3347 メール ashikawa@kando-soko.com

おじいちゃんは素敵な人、だったそうです

父方のおじいちゃんは父同様、職人さんでした。聞けばおじいちゃんは、職人でありながら、俳句を読む「歌人」としての顔もあったそうです。静かだけど、職人としてはアツイ人だったらしいです。おじいちゃんが生きてたら、この温暖化が進んだこの地球、このめちゃくちゃに暑い夏を、どう詠んだのかなあ・・・一目会って、聞いてみたかったです。

突然ですがここで、一句

商い（あきない）の、 収穫祭は 秋にあり

ダジャレ風に詠んでみました。

私の仕事は、言葉を大事にしなきゃいけない仕事です。今、私がこうして存在しているのは、ご先祖さまが健在だった証。この仕事がこんなに楽しく思えるのは、歌を楽しく詠んでいたおじいちゃんからもらった「魂」、そう思えるんです。

言葉への謙虚な姿勢と、言葉への愛情をいつも心に。おじいちゃんが詠んだ歌のように、飛び跳ねるような楽しい言葉を、生み出して行きたい。そんなことを思った、2008年の夏です。

オススメの本、紹介します。

これまた良い本！ ここで紹介します。

「キミがこの本を買ったワケ」

人間の行動心理を、面白おかしく描いた、すぐにでも役に立つ商売のヒントが、盛りだくさんの本です。「人が物を買うときの根拠は、実はあやふやである」という単純だけど、奥深いメカニズム。「それは確かに、あるある！」が連発の本です。内容を一部抜粋すると・・・→

「あなたは、ついさっき寄ったコンビニで何を買ったか、その理由を覚えていますか?」「また、十数年前に大ヒットした「エリマキトカゲのCM」って、なんの宣伝でしたっけ? あれだけ、評判になってCMなので、さぞかし商品も売れたんだろうと推測しますが、果たして結果は?」←と、こんな感じです。

ぜひ、手元において欲しい一冊です。



単行本
指南役 著
¥1,365

オススメです!



地球環境に配慮した、エコでクリーンな車。ハイブリッドカー。先日、そんなハイブリッドカーがアメリカで、ちょっとした問題になっているという記事を見つけました。「えっ、ナニナニ?」と興味津々でその記事を見ると、エンジン音が静か過ぎて、事故の原因となるケースが増えている、というのです。

議会にまで持ち込まれているらしい、この話題。あえてエンジンの騒音が出るように、設計する案も出ているというのです。「騒音」=騒がしい音と書きますが、目の不自由な方にしたら、必要な音ですよ。

たまに静かな所で寝ると、「耳鳴りがして眠れない」「静か過ぎると落ち着かない」。時と場所が変われば、騒音だって必要になる。普段、邪魔だと思えるものでも、状況が違えば、必要になることもある。商売でもこんな事、結構あるかも知れませんね。

芦川 永光

「つるのおんがえし」丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、20数年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします

毎月1回発行 発行編集責任者 感動創庫(かんどうそうこ) 芦川 永光

住所 藤沢市長後 1135-11-101 電話 090-1856-5593 FAX0466-65-3347 メール ashikawa@kando-soko.com